



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

**「冬のDigi 田甲子園」で優勝し、「内閣総理大臣賞」を受賞
～「デジタル（テレマティクス技術）を活用した新たな交通安全対策」～**

2023年3月10日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、テレマティクス^{※1}技術を活用して福井県および福井県警察と取り組んだ新たな交通安全対策が評価され、内閣官房が主催する「冬のDigi 田甲子園」で優勝し、「内閣総理大臣賞」の受賞者として、2023年3月9日に岸田 文雄内閣総理大臣から表彰を受けましたので、お知らせします。

※1 テレマティクスとは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み。


1. 背景

当社はテレマティクス自動車保険のパイオニアとして、2018年よりテレマティクス自動車保険の販売を開始し、2022年12月末時点で地球約238万周分の自動車走行データを蓄積しています。また、交通量に対する急減速発生件数の割合を地図上に表示し、地方公共団体に提供する取り組みを開始するなど、データ・デジタル技術を活用し、「事故を未然に防ぐ」「万が一の事故時には影響を減らし、回復を支援する」といった新たな価値提供にも取り組んでいます。

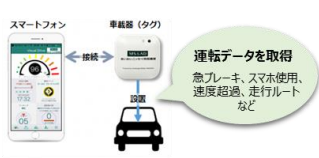

福井県では、このテレマティクス技術を活用して2021年10月～2022年1月の期間で取得した県内ドライバー454名の運転挙動のデータと、警察庁が公開している交通事故発生場所を掛け合わせ、危険な地点を表示した「福井県交通安全マップ」（以下、本マップ）を作成することで、精度の高い交通安全対策の立案・実行・効果検証等を支援しました。また、地域の小・中学生が本マップを活用して通学路の交通安全対策を検討するなど、データ分析への関心を高めることで地域のデジタル人材育成にも貢献しました。

今般、本取り組みが評価され、「冬のDigi 田甲子園」で優勝し、「内閣総理大臣賞」を受賞しました。

2. 受賞の概要**(1) 「冬のDigi 田甲子園」について**

表彰制度	<p>■冬のDigi 田甲子園</p> <ul style="list-style-type: none">・日本政府が掲げる「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた機運醸成を図るため、デジタル技術の活用により地域の個別課題を実際に解決した民間企業・団体等の取り組みを募集し、最も優れたものを「内閣総理大臣賞」として表彰する制度で、今回が初開催となります。・有識者による事前審査を通過すると、国民によるインターネット投票および有識者から成る審査委員による審査に進み、最も高い点数を獲得した民間企業・団体等が「内閣総理大臣賞」として表彰されます。 <p>※詳細は以下、内閣官房のHPをご参照ください。 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/archives/koushien/index.html</p> 
主催者	内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局
総応募件数	172 件
事前審査 突破件数	46 件
受賞日	2023年3月9日

(2) 評価された取り組みについて

<p>取り組み名称</p>	<p>福井県・福井県警察との共同取り組み 「デジタル（テレマティクス技術）を活用した新たな交通安全対策」</p>
<p>取り組み概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当社のテレマティクス技術により取得した福井県内におけるドライバーの急加速・急減速等の運転挙動データを用い、危険地点を表示した本マップを作成。 ・交通事故の発生前に危険地点を特定するといった先手先手の対策により、事故の未然防止と安全・安心なまちづくりに貢献。 ・本マップの活用により、福井県明新地区が最高速度 30 キロ以下に規制する「ゾーン 30」エリアに指定される等、交通安全対策の実効を後押し。 ・また、テレマティクス技術から得られる走行データから交通安全対策導入前後における車速変化も分析することができ、効果測定にも貢献。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>運転挙動データ収集</p> <p>期間：2021年10月～2022年1月 エリア：福井県福井市内（明新地区周辺） 参加者：県内企業、教育機関、県民（454名）</p>  <p>運転データ取得 急ブレーキ、スマホ使用、速度超過、走行ルートなど</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>「福井県交通安全マップ」作成・公開</p>  <p>取得した危険運転データ 警察庁 交通安全対策 オープンデータ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>対策実施・効果検証</p> <p>① 対策実施 福井県交通安全マップ テレマティクス自動車保険の契約データも活用（急減速多発エリア）</p> <p>② 効果検証 テレマティクス自動車保険の契約データで分析 地球約238万周分</p> </div> </div>

3. 表彰式の風景



いずれの写真も、デジタル田園都市国家構想実現会議事務局より提供

4. 今後の展開

当社は、行動指針に掲げている「地域密着」を具現化するため、テレマティクス技術を活用した交通安全支援を一層加速させるなど全国の地方創生に貢献していくとともに、デジタル技術を活用し、地域・社会課題の解決に資する商品・サービスのラインナップ拡充を目指していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取組みます。

